

電力技術研究会シリーズ エネルギー利用専門部会

エネルギー利用専門部会は、昭和42年の電気応用部会を発端に、平成4年に電気利用部会を経て、平成9年に発足した負荷平準化部会と平成14年に統合し、現在に至っております。

現在、構成メンバーは、販売本部法人営業部ソリューショングループの村西主査を筆頭に、社外専門委員11名(大学関係者9名、企業2名)社内8名であり、お客さまが当社の電気を引き続き選択していただくために「電気の優位性推進」および「電気利用の多様化・高度化」、お客さまのニーズにお応えするために「販売支援の高度化」を重点課題として、関連技術の調査・研究や情報交換を実施しております。

第71回(平成20年8月5日開催)では、電気利用の多様化・高度化の観点から、プラグインハイブリッドに代表される「自動車電源システム」について、車体そのものの電源技術から電力会社の電力供給(インフラ)に至るまで多岐に渡り意見交換がなされました。また、電気の優位性の観点では、「業務用高効率空調および給湯機器(エコキュート)の開発状況」について最新機器の技術報告があり、改めてこれらの機器が省エネルギー・CO₂

排出量削減に大きく寄与することを認識するとともに更なる機器効率の上昇に向けて活発な議論が交わされました。

今後も当専門部会では社外専門委員(大学・企業)の指導・助言を得て、重要課題であるエネルギーの効率利用、利便性向上、環境保全に関する顧客ニーズの解決に努めていきます。



専門部会の様子

「平成20年度関東地方発明表彰」において発明奨励賞を受賞

平成20年11月5日に行われた社団法人発明協会の「平成20年度関東地方発明表彰」において、当社の佐々木数広さん¹(発明当時 電気利用技術研究所(現エネルギー応用研究所)在籍)が、発明奨励賞を受賞しました。

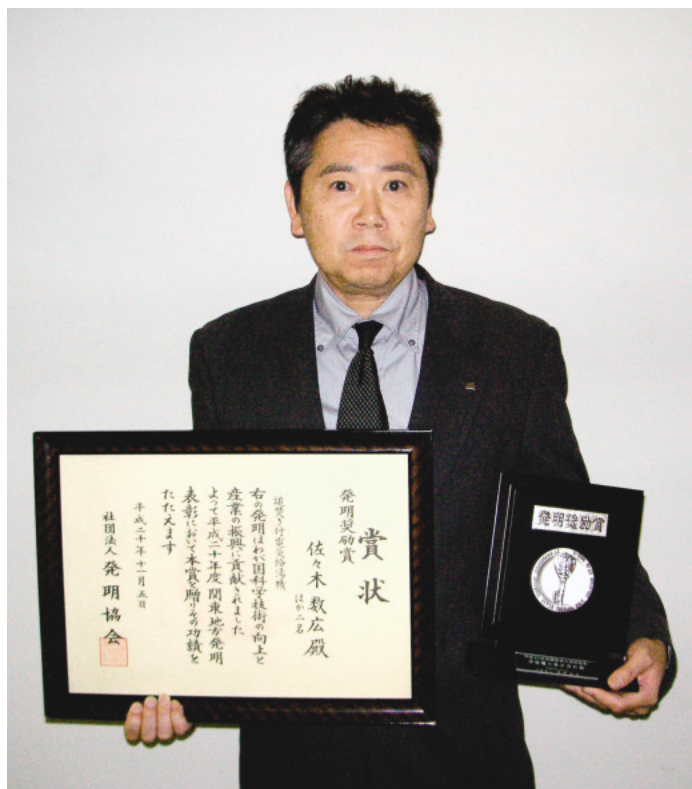
地方発明表彰は、特許権の成立までの過程、学術性、先行性、経済貢献度、実施効果、環境への配慮等多角的に審査され、各地方において優秀な発明を完成された方々、発明の実施化に尽力された方々、発明等の指導・奨励・育成に貢献された方々の功績を称え表彰されるものです。

佐々木数広さんは、当時(平成12年)追い焚きのできなかった電気温水器に対して、ガス給湯器に対抗できる追い焚き機能を付加した電気温水器を日立アプライアンス(株)発明当時 日立空調システム(株)と共同で開発し、電気温水器の売上げ増加に多大な貢献をしたことから、今回の受賞となりました。

1 現所属 名古屋支店 営業部 住宅電化グループ

2 対象特許

発明の名称：給湯装置(平成18年12月22日特許登録)
特許番号：03894719号



受賞された佐々木さん